

平成 27 年度
経過観察指標に係る年次報告書（案）

平成 29 年 3 月
富士山世界文化遺産協議会

はじめに

「富士山」においては、「ヴィジョン・各種戦略」に定めた経過観察指標の拡充・強化及び「富士山包括的保存管理計画」に定めた観察指標に基づき、モニタリングを実施している。

富士山世界文化遺産協議会は、年1回、モニタリング結果の報告書を作成し、富士山世界文化遺産学術委員会の助言や富士山世界文化遺産協議会作業部会の意見を踏まえ、協議会の承認を得る。

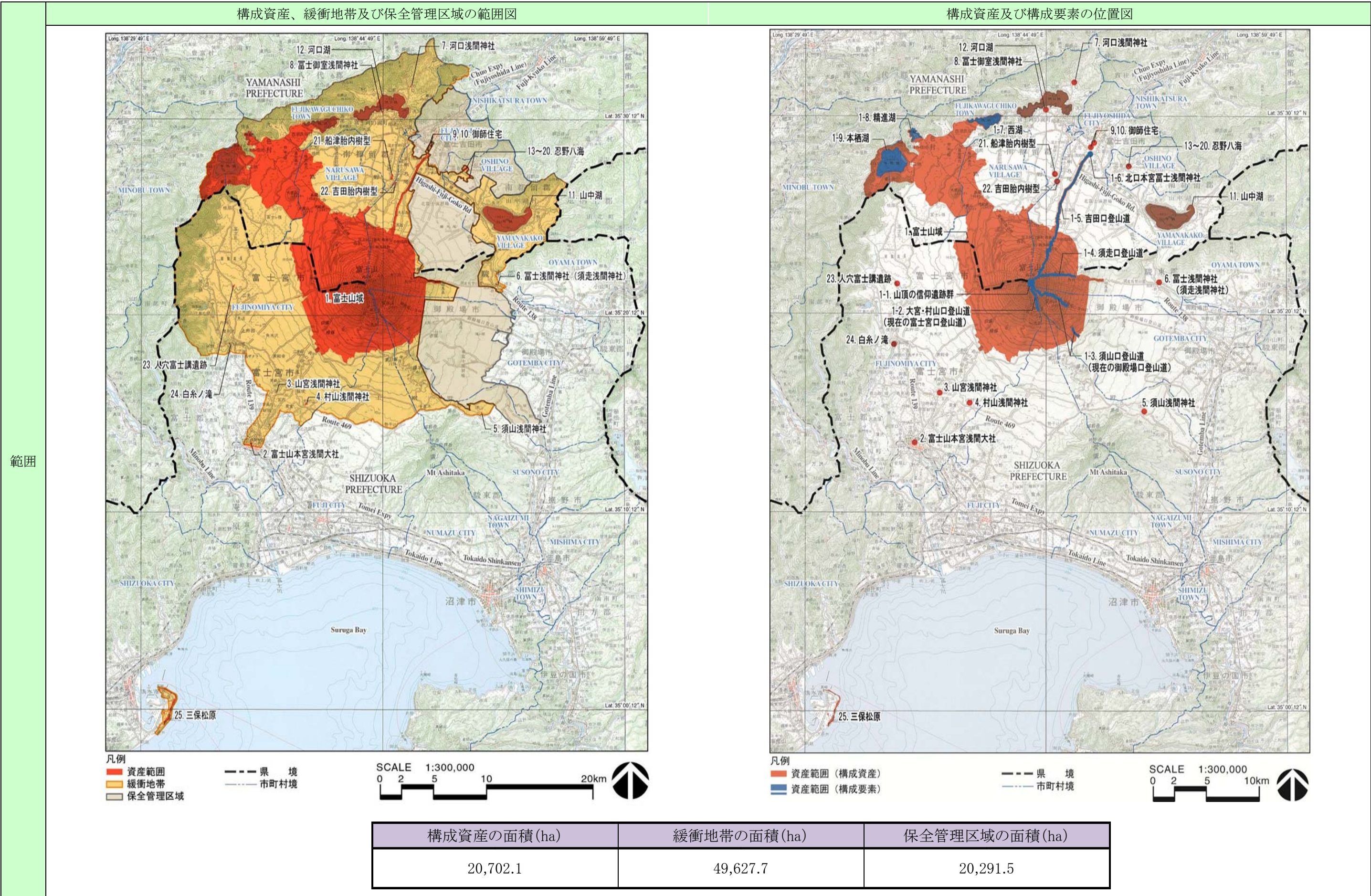
この報告書には、「富士山包括的保存管理計画」第10章に定めた観察指標（目次3～5）の結果を記載し、富士山世界文化遺産協議会としての全体の総括（目次6）をしている。

「7 資産及び周辺環境に関する現状の変更」については、構成資産の管理等に携わる市町村、資産所有者等が、他の構成資産の情報を共有するため掲載している。

目次

1	基本情報	3
2	保護（指定等）状況	4
3	「資産及び周辺環境の保護」に関する観察指標	5
4	「各構成資産及び構成要素の保護」に関する観察指標	8
5	「顕著な普遍的価値の伝達」に関する観察指標	9
6	総括	12
7	資産及び周辺環境に関する現状の変更	13
	参考資料1 定点観測地点からの展望景観の変化	14
	参考資料2 構成資産における整備事業の状況	22

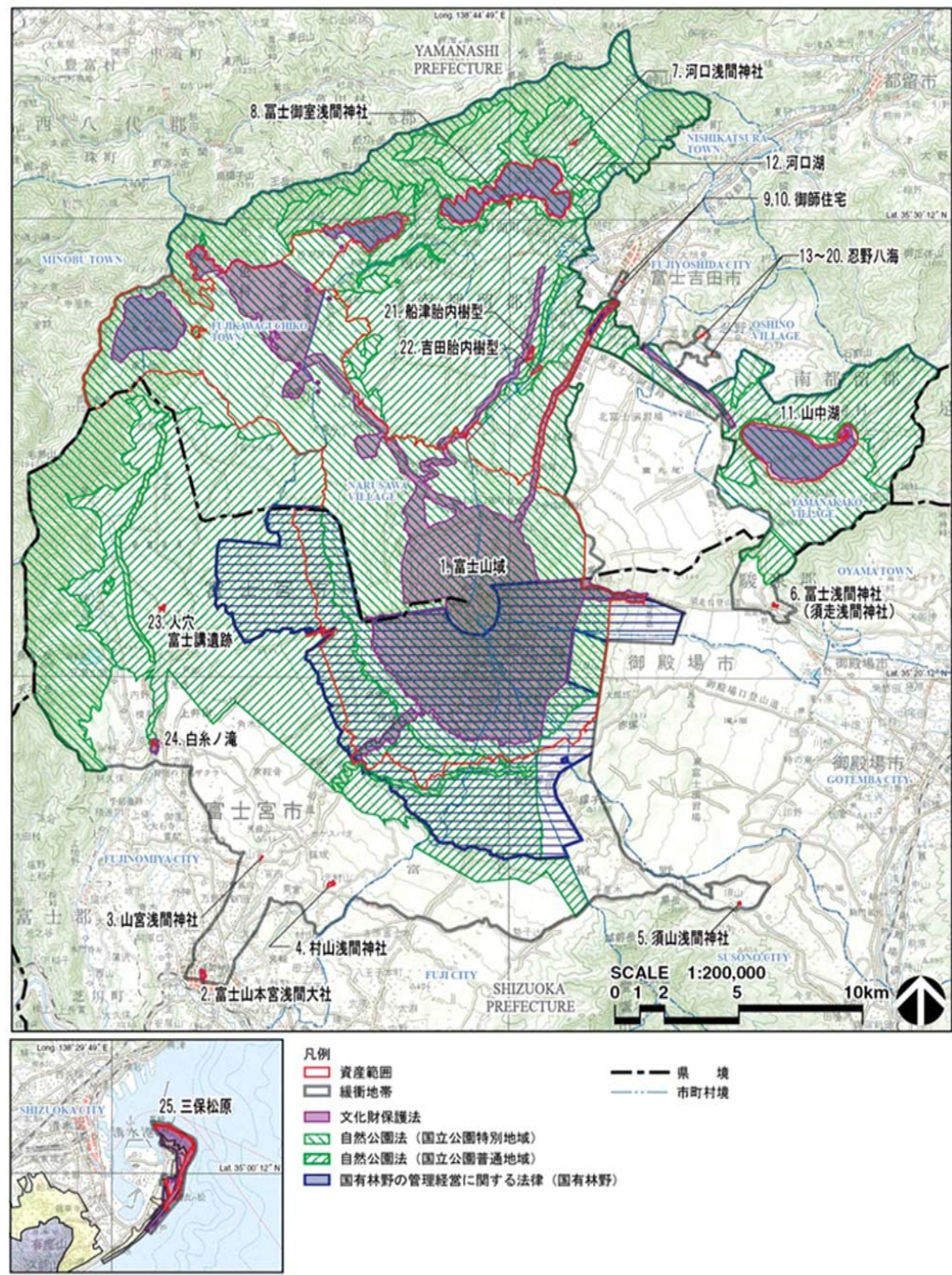
1 基本情報



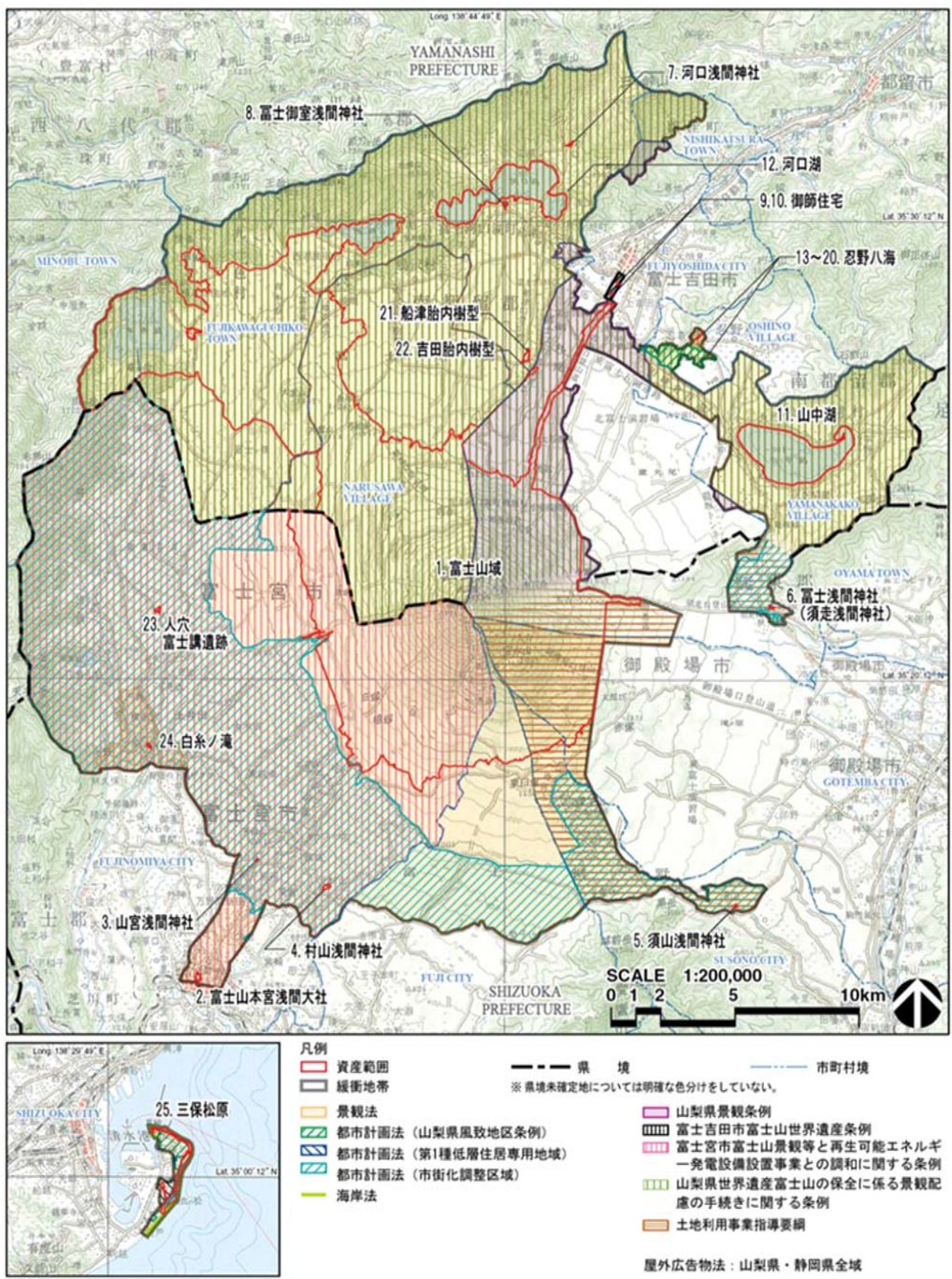
2 保護（指定等）状況

範囲

全体の法規制図 1



全体の法規制図 2



自治体名	条例等の名称	改正（制定）日	改正（制定）理由・内容
山梨県	山梨県世界遺産富士山の保全に係る景観配慮の手続に関する条例	平成 27 年 12 月 17 日	事業に係る景観の保全について、適正な配慮がなされることを確保し、もって富士山の保全に資することを目的とする。景観に影響を与える可能性のある一定規模以上の事業・開発行為の実施について、景観保全上、より良いものにしていく制度

3 「資産及び周辺環境の保護」に関する観察指標

資産及び周辺環境に対する負の影響		観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	平成 27 年度の結果	平成 26 年度の結果	コメント
			概要	調査範囲	報告項目					
開発・都市基盤施設の整備による影響	1 都市基盤施設の整備による影響	a) 電線の地中化延長	電線の地中化の延長状況について把握する。	富士吉田市、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、静岡市（三保松原周辺）、沼津市、三島市、富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、清水町、長泉町、小山町内で実施された事業	年度末の総延長距離(km) ※累計	毎年	山梨県 静岡県	57.90km	50.98km	計画的に事業を進めている。
	2 酸性雨	b) 大気汚染に係る環境基準達成率（二酸化硫黄、二酸化窒素）	大気の常時監視を行い、大気の二酸化硫黄、二酸化窒素含有量を測定する。	一般環境大気測定局：富士吉田合同庁舎、富士宮市立山宮小学校、富士市立大淵中学校、裾野市民文化センター、御殿場市役所、静岡市立三保第一小学校	二酸化硫黄、二酸化窒素の1日平均値の最大値	毎年	山梨県 静岡県	二酸化硫黄 0.008ppm 二酸化窒素 0.031ppm	二酸化硫黄 0.007ppm 二酸化窒素 0.027ppm	環境基準を超える箇所はない。 環境基準 二酸化硫黄：0.04ppm 以下 二酸化窒素：0.06ppm 以下
自然環境の変化	3 気候温暖化	c) 植生調査	1m×10mの永久方形枠に1m×1mのサブコドラート10個を設け、出現種、植被率等を記録する。	モニタリングサイト1000 高山帯調査 富士山サイトで設定されたプロット（山頂付近 A）	富士山山頂周辺の平均植被率	おおよそ5年	環境省	1.5%	0.8% (H22)	大きな植生変化は確認されていない。
		d) 森林限界の変動	森林限界線に地点を定め、その位置の時間的変化を観測する。また、航空写真を用いて時間的変化を観測する。	富士スバルライン五合目青草洞門付近	定点地点からの空中写真による森林限界線の変化	おおよそ5年	試験研究機関	—	—	次回撮影時に平成20年に撮影した写真と比較する。
		e) 気温の経年変化	大気の常時監視を行い、気温の変化を観測する。	富士山頂	年平均気温(日平均) ※単年	毎年	気象庁	-5.2℃	-7.2℃	大きな変動はない。
	4 野生動物及び病虫による影響	f) 森林の病虫被害による被害面積	森林における病虫被害による被害面積の把握を行う。	国有林並びに構成資産及び緩衝地帯に所在する市町村の森林	病虫被害による被害面積 ※単年度	毎年	林野庁 山梨県 静岡県	病虫害 99.6ha 獣害 202.33ha	病虫害 248.18ha 獣害 242.13ha	鹿による食害や松枯れなどの被害があったが、伐倒処理、防護柵設置等の対策を行った。
		g) 火山活動の観測	地震計、傾斜計、GPS等による火山活動の観測を行う。	富士山の火山活動観測点が設置されている範囲	噴火警報、火口周辺警報の発表件数 ※単年度	随時	気象庁 山梨県 静岡県 試験研究機関	0件	0件	大きな変動はない。防災訓練を行い、情報伝達などの確認を行った。

資産及び周辺環境に対する負の影響		観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	平成 27 年 度の結果	平成 26 年 度の結果	コメント
			概要	調査範囲	報告項目					
自然災害	6 土砂災害	h) 土砂災害・崩壊地形の調査	航空測量等により大沢崩れ周辺ほかの地形測量を行い、土砂災害・崩壊地形の調査を行う。	大沢崩れ	土砂流出量（千m³） ※単年度	随時	国土交通省	363 千m³	31 千m³	大雨とスラッシュ雪崩れにより土砂が流れ下ったが、下流の砂防施設により、被害は発生しなかった。
	7 地震	i) 前兆現象の観測	地震計、体積歪計、傾斜計等による前兆現象の観測を行う。	東海地域の地震・地殻変動の観測網の範囲	東海地震予知情報、東海地震注意情報の発表件数 ※単年度	随時	気象庁 山梨県 静岡県 試験研究機関	0 件	0 件	大きな変動はない。防災訓練を行い、情報伝達などの確認を行った。
	8 自然災害による建造物等や景観への影響	j) 文化財き損届件数	文化財のき損届の件数による被害の把握を行う。	構成資産内に所在する指定文化財	受理件数 ※単年度	毎年	山梨県 静岡県 市町村	1 件	6 件	山頂付近の山小屋周辺で石垣が崩落したが、すでに修復を完了した。
		k) 森林の風水害被害面積	風水害による森林の被害面積の把握を行う。	国有林並びに構成資産及び緩衝地帯に所在する市町村の森林	風害・水害による被害面積 ※単年度	毎年	林野庁 山梨県 静岡県	0ha	39.66ha	風水害による被害はなかった。
	9 火災による景観への影響	l) 森林の火災被害面積	森林における火災による被害面積の把握を行う。	国有林並びに構成資産及び緩衝地帯に所在する市町村の森林	火災による被害面積 ※単年度	毎年	林野庁 山梨県 静岡県	0ha	0.19ha	火災による被害はなかった。毎年、山火事多発期に合わせ、山火事予防運動を実施し、予防意識の普及啓発に努めている。
来訪者及び観光による影響	10 来訪者増加による建造物等や景観への影響	m) 主要地点への来訪者数	主要地点への来訪者数を把握する。	西湖・精進湖・本栖湖周辺、山中湖・忍野八海周辺、富士吉田・河口湖・三つ峠周辺、富士山本宮浅間大社周辺、白糸ノ滝、三保松原	年間の来訪者数 ※単年度または単年	毎年	山梨県 静岡県 市町	表 1		西湖・精進湖・本栖湖周辺と山中湖・忍野八海周辺は平成 26 年度から増加しているが、その他の 4 地点は減少している。
		n) 五合目への来訪者数	各登山道の五合目への来訪者数を把握する。	吉田口登山道、富士宮口登山道、御殿場口登山道、須走口登山道	7・8 月の来訪者数	毎年	山梨県 市町	表 2		吉田口及び御殿場口登山道は、平成 26 年度から増加したが、その他の 2 登山道は減少している。

資産及び周辺環境に対する負の影響		観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	平成 27 年度の結果	平成 26 年度の結果	コメント
			概要	調査範囲	報告項目					
来訪者及び観光による影響	10 来訪者増加による建造物等や景観への影響	o) 登山者数（八合目以上）	各登山道の八合目以上への来訪者数を把握する。	吉田口登山道、富士宮口登山道、御殿場口登山道、須走口登山道	7・8月の来訪者数	毎年	環境省	表 3		すべての登山道で、平成 26 年度から登山者は減少している。
		p) 自動車数	富士スバルライン、富士山スカイライン、ふじあざみラインにおける自動車数を把握する。	富士スバルライン、富士山スカイライン、ふじあざみライン	富士スバルライン マイカー規制期間、シャトルバス乗換駐車場入込台数 富士山スカイライン マイカー規制期間、シャトルバス乗換駐車場入込台数 ふじあざみライン マイカー規制期間、シャトルバス乗換駐車場入込台数	毎年	山梨県 静岡県	表 4		ふじあざみラインでは、マイカー規制期間を延長した。マイカー規制用の乗換駐車場入込台数は、3つの道路全てで平成 26 年度から減少している。

表 1 主要地点への来訪者数

年	西湖・精進湖・本栖湖周辺 （暦年）	富士山本宮浅間大社周辺	山中湖・忍野八海周辺 （暦年）	富士吉田・河口湖・三ツ峠周辺 （暦年）	白糸ノ滝	三保松原	合計
平成 25 年度	2, 247, 081 人	1, 619, 000 人	906, 026 人	5, 760, 806 人	437, 635 人	1, 564, 788 人	12, 535, 336 人
平成 26 年度	2, 161, 462 人	1, 452, 995 人	1, 294, 317 人	8, 356, 689 人	548, 627 人	1, 013, 220 人	15, 789, 095 人
平成 27 年度	3, 239, 609 人	1, 345, 562 人	1, 340, 504 人	8, 342, 638 人	494, 261 人	767, 799 人	15, 530, 373 人

※山梨県観光企画・ブランド推進課、富士宮市観光協会、静岡市観光シティ・プロモーション課の統計結果による。

表 2 7・8月における各登山口五合目への来訪者数

年	現在の富士宮口登山道	現在の御殿場口登山道	須走口登山道	吉田口登山道（富士スバルライン）	合計
平成 25 年度	167, 839 人	46, 558 人	74, 574 人	981, 802 人	1, 270, 773 人
平成 26 年度	110, 133 人	24, 373 人	65, 189 人	1, 437, 578 人	1, 637, 273 人
平成 27 年度	99, 056 人	36, 462 人	43, 180 人	1, 751, 838 人	1, 930, 536 人

※山梨県観光企画・ブランド推進課、富士宮市観光協会、御殿場市商工観光課、小山町商工観光課の統計による。

表 3 7・8月における各登山口八合目登山者数

年	現在の富士宮口登山道	現在の御殿場口登山道	須走口登山道	吉田口登山道	合計
平成 25 年度	76,784 人	17,709 人	36,508 人	179,720 人	310,721 人
平成 26 年度	57,054 人	15,503 人	29,109 人	141,996 人	243,662 人
平成 27 年度	51,453 人	14,296 人	21,431 人	117,267 人	204,447 人

※環境省八合目に設置された赤外線カウンターによる。

表 4 自動車台数

年	富士スバルライン		富士山スカイライン		ふじあざみライン	
	マイカー規制期間	乗換駐車場入込台数	マイカー規制期間	乗換駐車場入込台数	マイカー規制期間	乗換駐車場入込台数
平成 25 年度	31 日	20,205 台	52 日	22,103 台	37 日	5,278 台
平成 26 年度	53 日	29,922 台	63 日	19,705 台	40 日	5,619 台
平成 27 年度	53 日	25,802 台	63 日	17,432 台	47 日	5,308 台

4 「各構成資産及び構成要素の保護」に関する観察指標

資産及び周辺環境に対する負の影響		観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	平成 27 年度の結果	平成 26 年度の結果	コメント
			概要	調査範囲	報告項目					
各構成資産	1 建造物における火災	a) 防災設備の点検状況	防災設備の点検を行う。	北口本宮富士浅間神社、河口浅間神社、富士御室浅間神社、旧外川家住宅、小佐野家住宅、富士山本宮浅間大社、山宮浅間神社、村山浅間神社、須山浅間神社、富士浅間神社、人穴浅間神社、御穂神社	防火設備の点検結果による不良件数 ※単年度	毎年	所有者 管理団体	0 件	0 件	各構成資産における防火設備の不良はない。毎年、文化財防火デーに防災訓練を実施し、火災に備えている。
	2 建造物をはじめとする構成資産及び構成要素の劣化	b) 建造物をはじめとする構成資産及び構成要素の保全状況	建造物をはじめとする構成資産及び構成要素の巡視を行う。	構成資産及び構成要素内に所在する指定文化財	巡視結果による不良件数 ※単年度	毎年	山梨県 静岡県	0 件	0 件	各構成資産において、不良と判断されたものはない。
	3 湖沼・湧水の水質	c) 水質	湖沼（富士五湖）・湧水（忍野八海）の水質（pH、COD、有害物質等）測定を行う。	富士五湖、忍野八海	富士五湖のうち COD(75% 値) 最大値 忍野八海のうち pH 最大・最小値、COD 最大値	毎年	山梨県 町村	河口湖 COD 2.7 出口池 pH 最大 7.8 湧池 pH 最小 7.4 菖蒲池 COD 2.6	河口湖 COD 3.3 出口池 pH 最大 7.8 湧池 pH 最小 7.5 菖蒲池 COD 0.9	環境基準の値を超える地点はない。 環境基準 COD：3.0 以下 （本栖湖は 1.0 以下） pH：6.5～8.5 以内

資産及び周辺環境に対する負の影響		観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	平成 27 年度の結果	平成 26 年度の結果	コメント
			概要	調査範囲	報告項目					
展望景観	4 景観変化	d) 定点観測地点からの展望景観の変化	定点観測地点において、視界に入り込む阻害要因について把握する。	中ノ倉峠、三保松原など計 36 箇所	視点場からの展望景観の変化 (写真は参考資料 1 参照)	毎年	山梨県 静岡県 市町村	変化なし	—	36 箇所の定点観測地点のうち、中ノ倉峠、三保松原は、展望景観の変化はない。残りの 34 箇所は、平成 27 年から撮影を開始した。

5 「顕著な普遍的価値の伝達」に関する観察指標

観察指標	指標の測定内容及び手法			周期	観察記録主体	平成 27 年度の結果	コメント
	概要	調査範囲	報告項目				
a) 富士山に関する研修会等実施状況	富士山に関する様々な研修会・セミナーへの参加者数等を把握する。	県及び資産が所在する市町村内で実施した講座、講演会、学習会、野外観察	開催年月日、行事名称、参加者数など	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表 5	富士山への理解を深めるため、学校単位での富士山検定や出前講座などを実施し、顕著な普遍的価値の後世への継承を積極的に行っている。
b) 環境保全活動の実施状況	富士山に関する環境保全活動への参加者数等を把握する。	資産及びその周辺地域で実施した森林整備又は美化清掃活動	開催年月日、行事名称、参加者数など	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表 6	地域コミュニティによる環境保全活動の促進が積極的に行われている。
c) 富士山信仰に関わる宗教行事の実施状況	富士山信仰に関わる主な宗教行事の実施回数、参加人数等を把握する。	河口浅間神社、北口本宮富士浅間神社、富士山本宮浅間大社、山宮浅間神社、村山浅間神社、須山浅間神社、富士浅間神社	神事名、参加者数、行事内容など	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表 7	復活した行事もあり、毎年地域コミュニティの協力により行われ、着実に後世へと引き継がれている。
d) パンフレット・ホームページによる情報提供数	パンフレット類及びホームページによる世界遺産富士山の顕著な普遍的価値及び保全に関する情報提供の状況について把握する。	県、市町村が発行するパンフレット等の出版物及びホームページ	出版物の名称、規格、部数、ホームページの名称、アドレス、閲覧件数	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表 8、9	富士山の顕著な普遍的価値や構成資産のつながりを説明した広報物を作成し、世界遺産ガイドの研修会や出前講座などで配布した。今後は巡礼路の調査等の結果を踏まえ、更新を行っていく。
e) 顕著な普遍的価値に関する理解の状況	富士山の顕著な普遍的価値に関する来訪者の認知・理解度を測定する。	北口本宮富士浅間神社、富士山本宮浅間大社、道の駅なるさわなど約 20 箇所程度	アンケート調査による富士山の顕著な普遍的価値を理解した割合（富士山の文化的伝統）	毎年	山梨県 静岡県 市町村	40.8%	富士登山の文化的な伝統である登拝・巡礼について、半数以上の者が知らなかった。遺産協議会のホームページの拡充などを図り、理解度を上げる取組を進める。

表 5 富士山に関する研修会等実施状況（講演会、講座等）

名称	事業主体	参加者数	概要
講話	富士市	2,767 人	「富士山と環境について」などの講話（富士市内 4 箇所で開催）
世界文化遺産出前講座	静岡県	1,949 人	世界文化遺産全般に関する講座（静岡県内 22 箇所で開催）
世界文化遺産出前講座	山梨県	270 人	世界文化遺産全般に関する講座（甲府市内 1 箇所で開催）
世界文化遺産出前講座	山梨県	255 人	世界文化遺産全般に関する講座（富士吉田市内 1 箇所で開催）
ほか 136 件		16,604 人	
合計		21,208 人	

※各県で参加者数上位 2 件を記載し、その他はまとめて記載。

表 6 環境保全活動の実施状況

名称	事業主体	参加者数	概要
ぐるり富士山風景街道一周清掃	ぐるり富士山風景街道	4,000 人	山梨・静岡両県の住民・行政・団体の連携による清掃活動
三保松原海岸一斉清掃	三保地区まちづくり推進委員会及び名勝保存会	1,500 人	自治会と協働による清掃活動
2016「三保松原保全活用条例」制定記念保全啓発事業	三保地区まちづくり推進委員会及び名勝保存会	1,300 人	自治会と協働による清掃活動
富士山をきれいにする会 前期クリーン作戦	富士山をきれいにする会	2,000 人	ボランティア参加による吉田口五合目周辺と西湖周辺の清掃活動
ほか 12 件		4,449 人	
合計		13,649 人	

※各県で参加者数上位 2 件を記載し、その他はまとめて記載。

表 7 富士山信仰に関わる宗教行事の実施状況

構成資産名	所在地	神事名	参加者数	伝承状況	変容内容
河口浅間神社	山梨県富士河口湖町	例大祭	－	旧来通り	
		太々御神楽祭	－	旧来通り	
北口本宮富士浅間神社	山梨県富士吉田市	夏越大祓式・開山前夜祭	800 名	旧来通り	
		開山祭	80 名	旧来通り	
		鎮火祭	700 名	旧来通り	
富士山本宮浅間大社	静岡県富士宮市	初申祭	70 名	変容あり	御鉾を渡御する御神幸は明治初期を最後に行われず、長く両社の参拝のみとなっていたが、平成 18 年大宮鎮座 1200 年を記念して山宮のお迎え坂から山宮浅間神社の間で復興された
		開山祭	120 名	変容あり	以前は 7 月 7 日の午前中に開山祭を、午後に御田植祭を執り行った。その後、他の登山口の開山に合わせて 7 月 1 日となった。平成 26 年から、静岡県の開山日に合わせて 7 月 10 日となった
		閉山祭	70 名	変容あり	平成 25 年までは 9 月 7 日に行っていたが、平成 26 年から 9 月 11 日となった
		富士山山頂奥宮開山祭	5 名	旧来通り	
		富士山山頂奥宮閉山祭	10 名	旧来通り	
山宮浅間神社	静岡県富士宮市	初申祭	114 名	変容あり	平成 18 年浅間大社遷座 1200 年記念祭より復活した
		例祭	70 名	旧来通り	
村山浅間神社	静岡県富士宮市	開山祭	210 名	変容あり	入山式と称して行っていた行事が、平成 4 年から観光協会主催の開山祭に取り込まれた
		閉山祭	80 名	変容あり	戦前まで山伏が峰入り修行を終えて村山に帰ってきた 8 月 16 日に護摩焚きを行っていたが、戦後 8 月 16 日が村山浅間神社の例大祭となったため、昭和 37 年に護摩炊きを復活させて大日堂の祭典として行うようになった

構成資産名	所在地	神事名	参加者数	伝承状況	変容内容
須山浅間神社	静岡県裾野市	開山祭	140 名	旧来通り	
		閉山祭	100 名	旧来通り	
富士浅間神社	静岡県小山町	開山祭	87 名	旧来通り	
		閉山祭	86 名	旧来通り	

表 8 パンフレット等による情報提供

名称	作成主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要
世界遺産「富士山」	富士山世界文化遺産協議会	A 5	42, 000 部	日本語、	来訪者が構成資産相互の関係性を容易に認知・理解できるように、巡礼路に係る調査・研究成果等に基づく構成資産相互のつながりや富士山の顕著な普遍的価値に関する情報や保全の取組などを記載
			14, 500 部	英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語	
世界遺産「富士山」（児童用）	富士山世界文化遺産協議会	A 5	17, 000 部	日本語	
構成資産白糸ノ滝	富士宮市	A 4	100, 000 部	日本語	白糸ノ滝の説明
富士山-信仰の対象と芸術の源泉	富士河口湖町	A 4	20, 000 部	日本語	構成資産・構成要素の説明
ほか 7 件			107, 000 部		
合計			300, 500 部		

※各県で発行部数上位 2 件を記載し、その他はまとめて記載。

表 9 ホームページによる情報提供

名称	作成主体	概要	アドレス	閲覧件数
世界遺産富士山 信仰の対象と芸術の源泉	富士山世界文化遺産協議会	文化遺産としての富士山などを説明	http://www.fujisan-3776.jp/	37, 907 件
世界遺産富士山とことんガイド	静岡県	富士山が世界遺産に選ばれたわけなどを説明	http://www.fujisan223.com/	75, 998 件
世界遺産富士山	富士宮市	世界遺産や富士山についての説明	http://www.city.fujinomiya.shizuoka.jp/fujisan/1lti2b000000gpth.html	37, 907 件
富士山世界遺産の概要 -富士山の構成資産 忍野八海	忍野村	構成資産の説明	http://www.vill.oshino.lg.jp/docs/2013071200017/	1, 214 件
ほか 3 件				44, 636 件
合計				197, 662 件

※各県で閲覧件数上位 2 件を記載し、その他はまとめて記載。

6 総括

(1) 『3 「資産及び周辺環境の保護」に関する観察指標』について

- ・自然災害や環境変化に対して、砂防施設や防護柵設置など事前の対策や、伐倒処理など事後の対策を実施しているため、大きな被害には至っていない。
- ・資産及び周辺環境に対する負の影響が確認又は予見されていない。

(2) 『4 「各構成資産及び構成要素の保護」に関する観察指標』について

- ・構成資産のパトロールや点検を定期的に行い、き損や施設に不備があった場合は、修理等速やかに対応する体制づくりをしている。
- ・定点観測地点からの展望景観について、毎年同じ条件で撮影できるよう撮影マニュアルを作成し、撮影を開始した。
- ・各構成資産及び構成要素に対する負の影響が確認又は予見されていない。

(3) 『5 「顕著な普遍的価値の伝達」に関する観察指標』について

- ・富士山に関する研修会や環境保全活動など、地域コミュニティーによって積極的に行われている。

7 構成資産及び周辺環境における現状の変更

(1) 構成資産における整備事業（調査は除く）の状況

構成資産名	事業概要	事業主体	開始年度	備考
富士山山城	富士宮口五合目、須走口五合目に世界遺産の記念銘設置	静岡県	平成 27 年度	平成 27 年度終了
	砂防堰堤の増築	国土交通省	平成 27 年度	
	洞門の延長、導流堤の現存撤去、強化した導流堤の新設（参考資料 2 P22 参照）	山梨県	平成 27 年度	
	既存山小屋及び建物付帯設備の撤去及び新設	山小屋	平成 27 年度	平成 28 年度終了
	導流堤新設及び倒壊した砂防堰堤の撤去、新設（参考資料 2 P23 参照）	山梨県	平成 27 年度	
	北口本宮富士浅間神社に公衆便所の新設	北口本宮浅間神社	平成 27 年度	平成 28 年度終了
	北口本宮富士浅間神社に消火栓の設置及び給水管の配管	富士吉田市	平成 27 年度	平成 27 年度終了
山宮浅間神社	階段改修など指定地内の環境整備	富士宮市	平成 27 年度	平成 28 年度終了
富士浅間神社	世界遺産の記念銘と史跡標識設置	小山町	平成 27 年度	平成 27 年度終了
人穴富士講遺跡	史跡整備工事として洞穴人穴の入口部の岩盤補強工事（参考資料 2 P24 参照）	富士宮市	平成 28 年度	
白糸ノ滝	環境整備として連絡通路整備工事（参考資料 2 P25 参照）	富士宮市	平成 24 年度	平成 28 年度終了
三保松原	L 型突堤への置き換え（参考資料 2 P26 参照）	静岡県	平成 27 年度	
	（仮称）三保松原ビジターセンター建設工事設計業務（基本設計）（参考資料 2 P27 参照）	静岡市	平成 27 年度	平成 28 年度終了

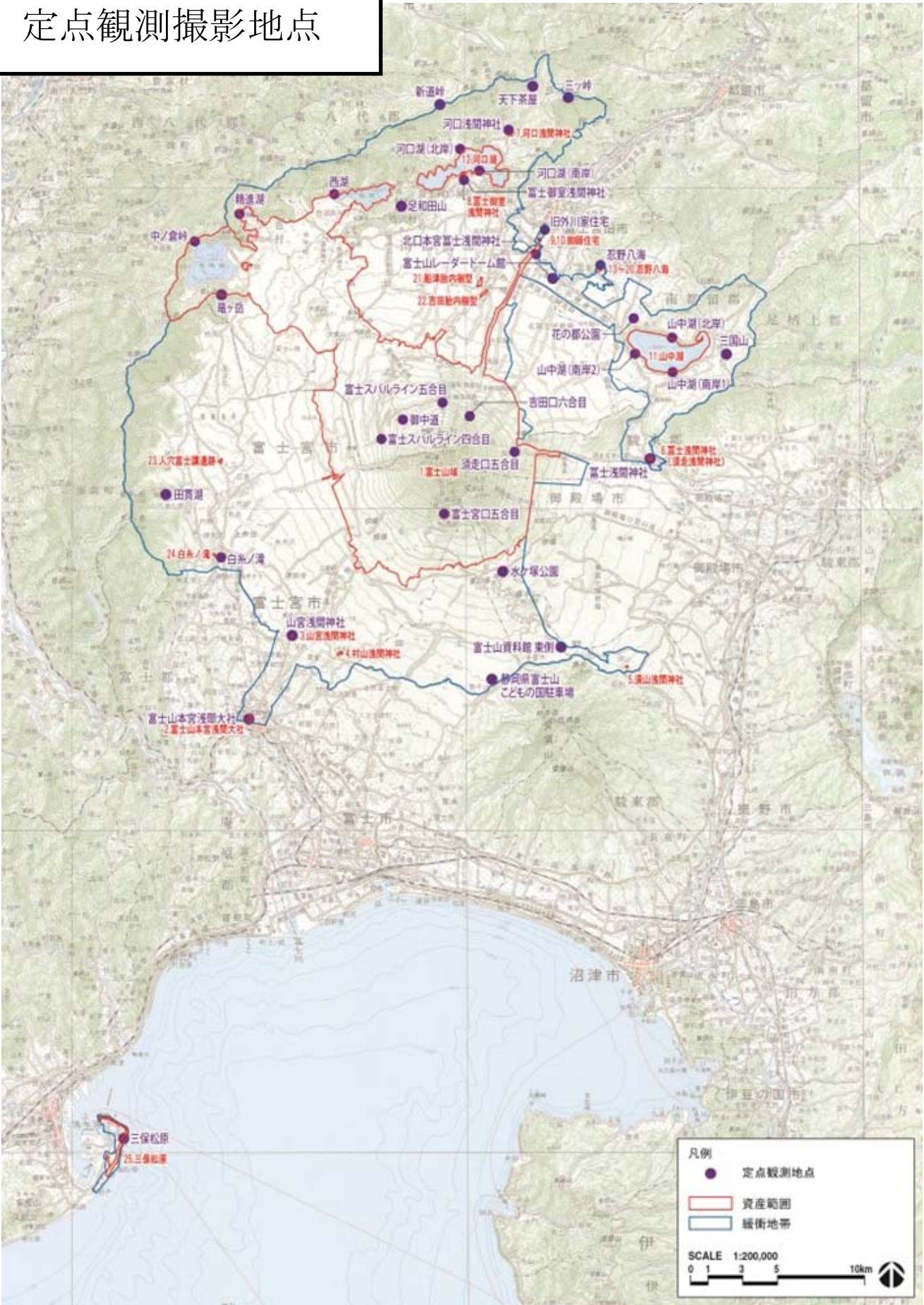
※平成 27 年度に文化財保護法に基づく現状変更許可を受けた事業または平成 27 年度以前に許可を受け、平成 27 年度に継続中の事業から抽出。

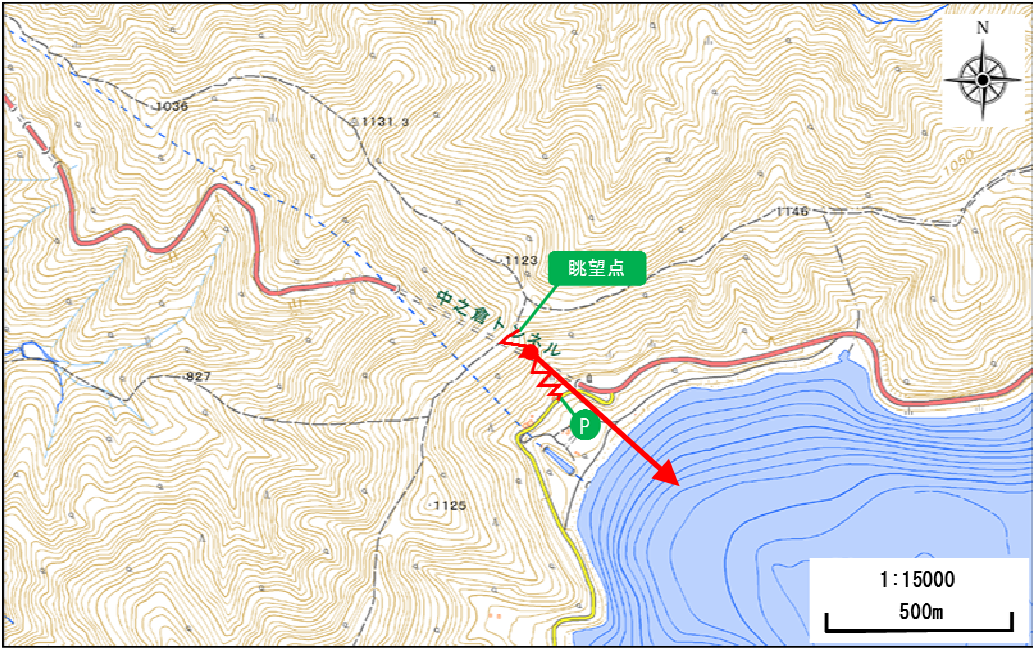
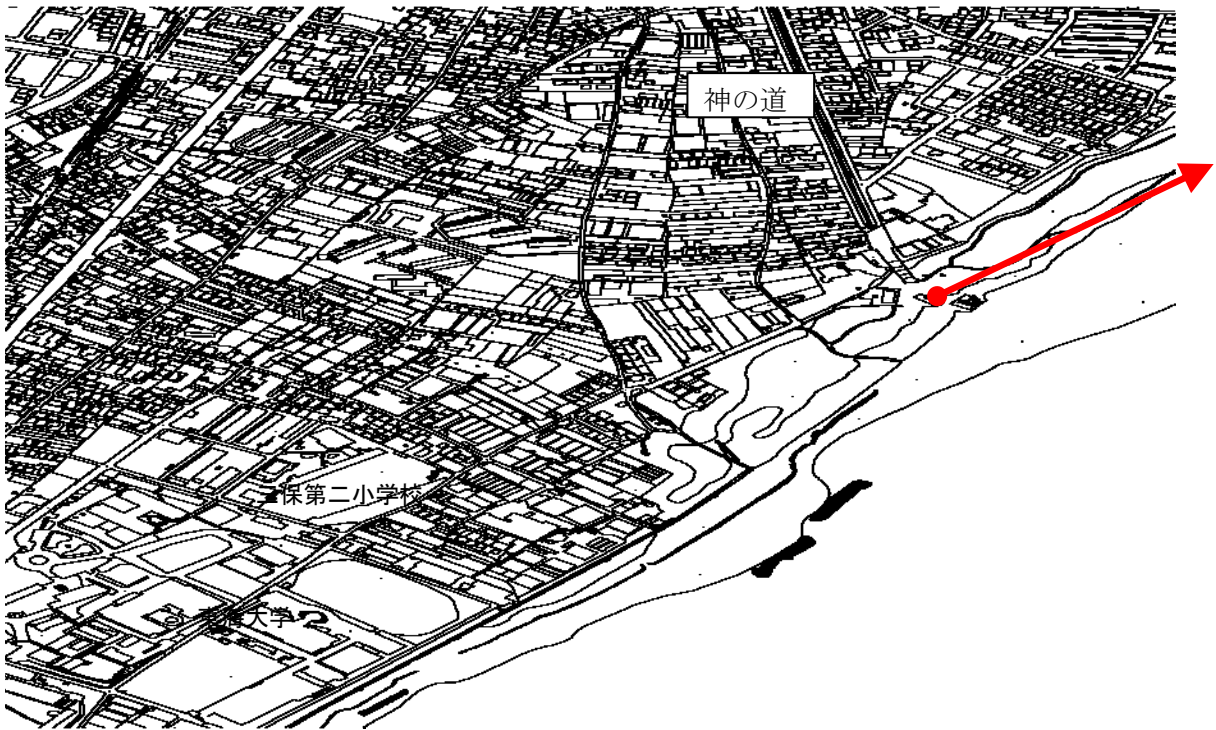
(2) 緩衝地帯における開発状況

構成資産名	事業概要	法的規制の状況	事業主体	開始年度
該当なし				

※山梨県は、「山梨県世界遺産富士山の保全に係る景観配慮の手続に関する条例」第 16 条第 1 項の規定により公表した事業及びこれに類する事業、静岡県は、「景観条例」及び「景観計画」に基づき届出があった事業を掲載。

定点観測撮影地点



撮影 地点	(1) 中ノ倉峠 区分①、③		(2) 三保松原 区分①	
				
年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
写真				
撮影日	平成 2 7 年 1 1 月 6 日	平成 2 6 年 1 1 月 6 日	平成 2 7 年 1 2 月 1 8 日	平成 2 7 年 1 月 2 9 日
景観 変化	変化なし		変化なし	

※区分①：各方面から富士山を展望する地点、区分②：富士山から構成資産及び緩衝地帯を展望する地点、区分③：構成資産から当該構成資産及びその周辺地域を展望する地点

その他の 34 地点は、平成 27 年度から撮影を開始したため、来年度より比較を行う。

撮影 地点	(3) 吉田口六合目 区分②	(4) 旧外川家住宅（国道西側歩道） 区分①	(5) 北口本宮富士浅間神社（参道入口付近） 区分③	(6) 富士山レーダードーム館 区分①
				
撮影日	平成 2 7 年 1 1 月 2 1 日	平成 2 7 年 1 1 月 4 日	平成 2 7 年 1 0 月 3 1 日	平成 2 7 年 1 0 月 2 7 日
撮影 地点	(7) 三ッ峠 区分①	(8-1) 忍野八海（出口池 南側） 区分③	(8-2) 忍野八海（木橋右岸）区分①	(8-3) 忍野八海（お釜池 南側） 区分③
				
撮影日	平成 2 7 年 1 1 月 4 日	平成 2 7 年 1 0 月 2 7 日	平成 2 7 年 1 0 月 2 7 日	平成 2 7 年 1 0 月 2 7 日

※区分①：各方面から富士山を展望する地点、区分②：富士山から構成資産及び緩衝地帯を展望する地点、区分③：構成資産から当該構成資産及びその周辺地域を展望する地点

撮影 地点	(8-4) 忍野八海（銚子池） 区分③	(8-5) 忍野八海（湧池） 区分①、③	(8-6) 忍野八海（濁池） 区分①、③	(8-7) 忍野八海（鏡池） 区分①、③
				
撮影日	平成27年10月27日	平成27年10月27日	平成27年10月27日	平成27年10月27日
撮影 地点	(8-8) 忍野八海（菖蒲池 北側） 区分①、③	(8-9) 忍野八海（菖蒲池公園）区分①	(9) 山中湖（南岸 駐車場） 区分③	(10) 山中湖（南岸 旭日丘湖畔緑地公園）区分①、③
				
撮影日	平成27年10月27日	平成27年10月27日	平成27年11月4日	平成27年11月4日

※区分①：各方面から富士山を展望する地点、区分②：富士山から構成資産及び緩衝地帯を展望する地点、区分③：構成資産から当該構成資産及びその周辺地域を展望する地点

撮影 地点	(11) 山中湖（北岸 長池親水公園） 区分①、③	(12) 三国山 区分①	(13) 花の都公園 区分①	(14-1) 富士スバルライン五合目 区分②、③
				
撮影日	平成27年10月27日	平成27年11月4日	平成27年10月27日	平成27年11月21日
撮影 地点	(14-2) 富士スバルライン五合目 区分②、③	(15-1) 御中道 区分②、③	(15-2) 御中道 区分②、③	(16-1) 富士スバルライン四合目 区分②、③
				
撮影日	平成27年11月21日	平成27年11月21日	平成27年11月21日	平成27年11月21日

※区分①：各方面から富士山を展望する地点、区分②：富士山から構成資産及び緩衝地帯を展望する地点、区分③：構成資産から当該構成資産及びその周辺地域を展望する地点

撮影 地点	(16-2) 富士スバルライン四合目 区分②、③	(17) 足和田山（三湖台） 区分③	(18) 河口浅間神社 区分①	(19) 天下茶屋 区分①
				
撮影日	平成27年11月21日	平成27年11月5日	平成27年11月4日	平成27年11月5日
撮影 地点	(20) 新道峠 区分①	(21) 河口湖（北岸 大石公園） 区分①、③	(22-1) 富士御室浅間神社（参道入口付近） 区分③	(23-1) 河口湖（南岸 八木崎公園） 区分①、③
				
撮影日	平成27年11月5日	平成27年11月5日	平成27年10月31日	平成27年11月4日

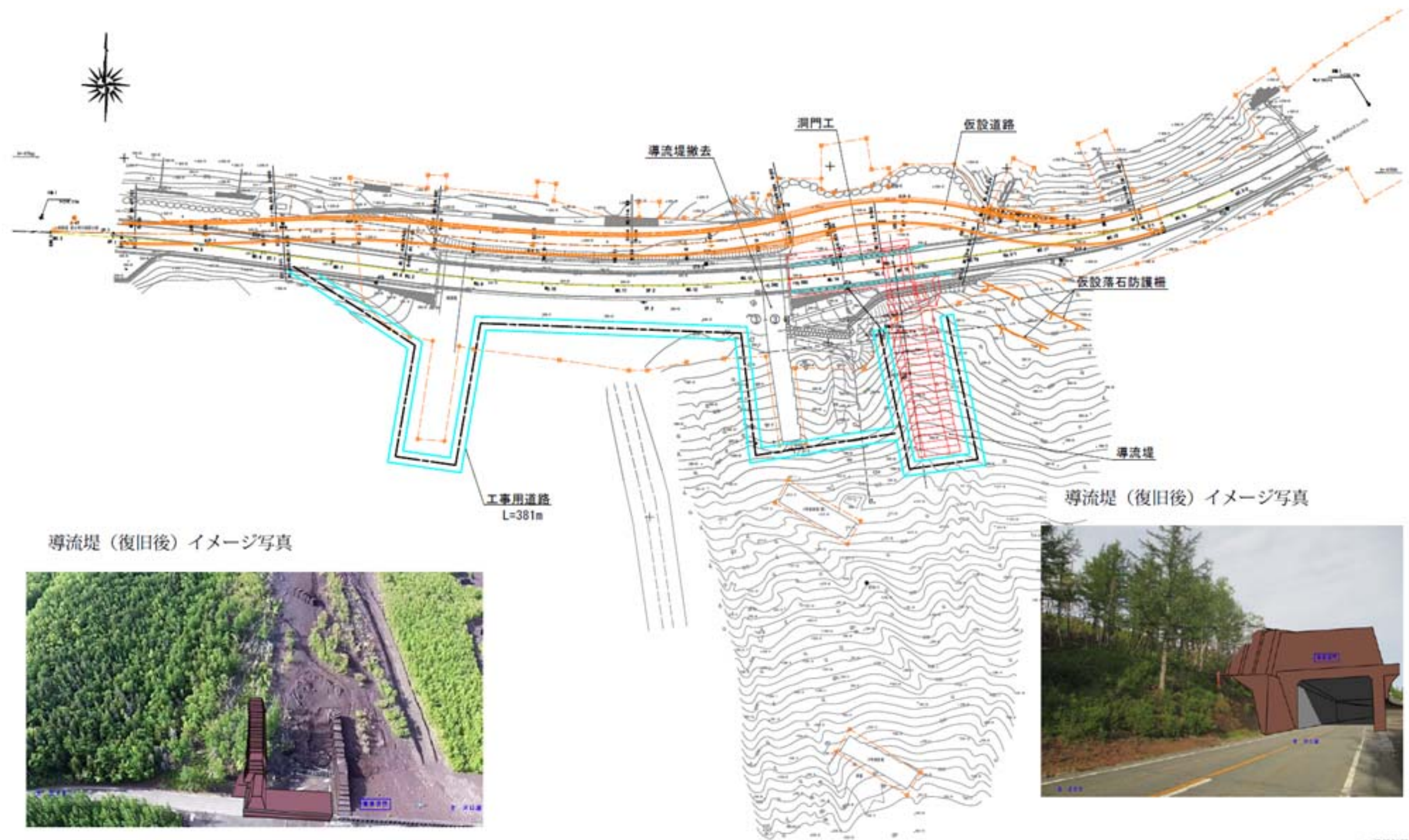
※区分①：各方面から富士山を展望する地点、区分②：富士山から構成資産及び緩衝地帯を展望する地点、区分③：構成資産から当該構成資産及びその周辺地域を展望する地点

撮影 地点	(23-2) 河口湖（南岸 八木崎公園） 区分①、③	(24) 西湖（根場浜） 区分①、③	(25) 精進湖（他手合浜） 区分①、③	(26) 竜ヶ岳 区分①
				
撮影日	平成27年11月4日	平成27年11月5日	平成27年11月5日	平成27年11月6日
撮影 地点	(27) 富士浅間神社 区分①	(28) 水ヶ塚公園 区分①	(29) 富士山資料館東側 区分①	(30) 富士山本宮浅間大社 区分①
				
撮影日	平成27年11月4日	平成28年1月14日	平成28年1月14日	平成28年3月25日

※区分①：各方面から富士山を展望する地点、区分②：富士山から構成資産及び緩衝地帯を展望する地点、区分③：構成資産から当該構成資産及びその周辺地域を展望する地点

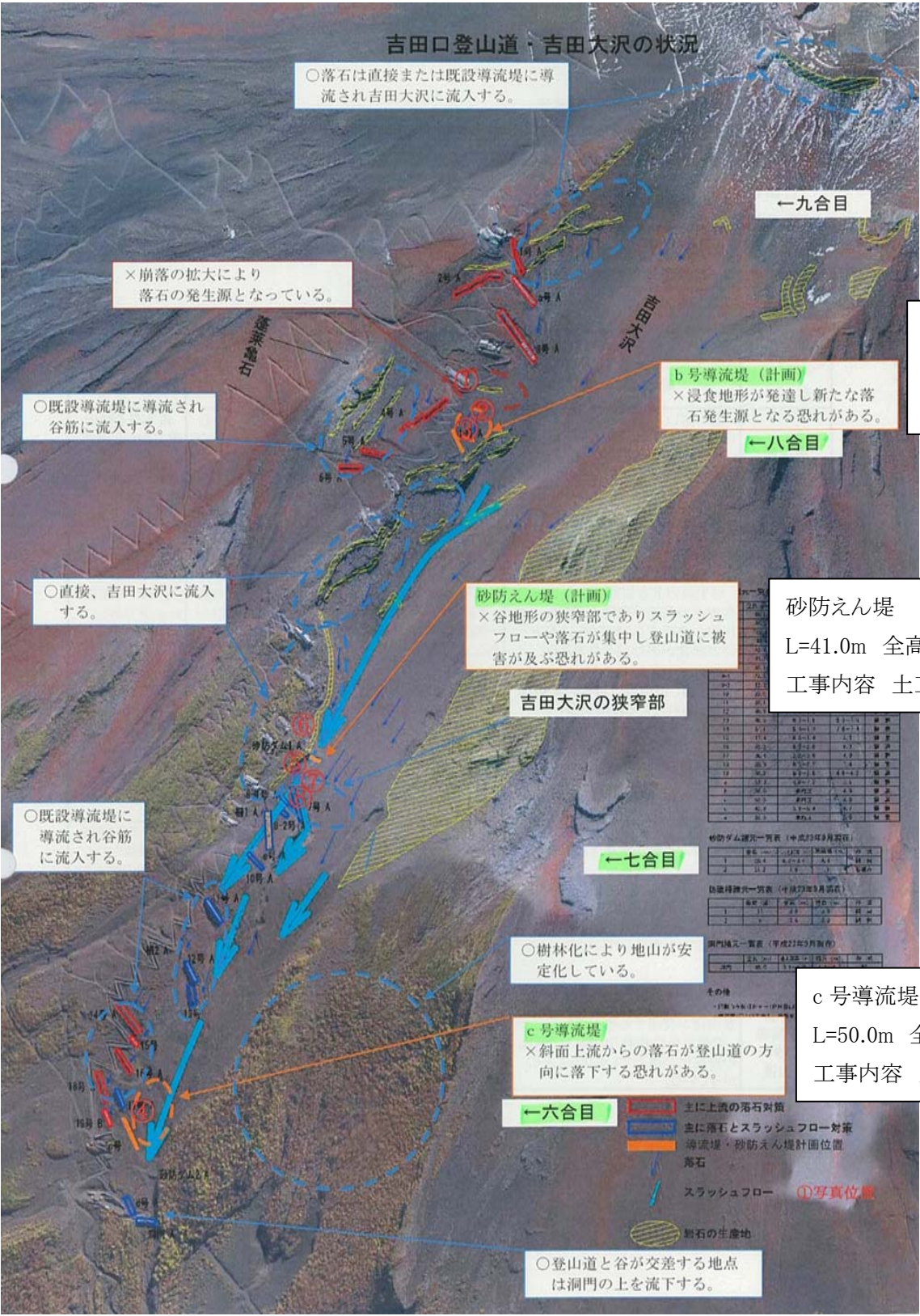
撮影 地点	(31) 山宮浅間神社 区分①	(32) 田貫湖 区分①	(33) 静岡県富士山こどもの国駐車場 区分①	(34) 須走口五合目 区分②
				
撮影日	平成28年3月25日	平成28年3月25日	平成27年5月8日	平成27年11月4日
撮影 地点	(35) 富士宮口五合目 区分②、③		(36) 白糸ノ滝 区分①、③	
				
撮影日	平成28年3月25日	平成27年8月4日	平成28年3月25日	平成28年3月25日

(1) 富士山城（富士スバルライン青草洞門付近）



工事用道路は現地の土砂を用いて整備します。
施工後は撤去し、現況復旧とします。

工事設計図			
工事番号		図面番号	
路線名	一般国道 富士河口湖富士線		
工事箇所	静岡県静岡市清水区富士山城		
部 名	構造部	編 号	1-100
	山梨県道路公社		



b号導流堤
L=30.0m 全高 H=9.0m 幅員 W=7.5m
工事内容 土工、擁壁工、塗装工

砂防えん堤
L=41.0m 全高 H=10.0m 幅員 W=8.0m
工事内容 土工、擁壁工、塗装工

c号導流堤
L=50.0m 全高 H=7.5～9.5m 幅員 W=7.1～7.5m
工事内容 土工、擁壁工、塗装工

(3) 人穴富士講遺跡

図面

人穴富士講遺跡洞穴整備図

凡例

- OP : 開口幅(mm)
- t : 不安定岩塊の奥行(mm)
- (P) : 内空側急冷槽の剥脱
- : 大規模な崩落跡
- : 小規模な崩落跡
- : 著しく不安定な部分

H28施工

H29施工

シェルター工法
(支柱および梁間隔1.5m, L.G.)

岩接合工法

TP2 694.07

TP3 687.63

TP4 687.92

TP5 694.96

TP6 687.02

TP7 687.77

TP8 687.02

TP9 687.02

TP10 687.02

TP11 687.02

TP12 687.02

TP13 687.02

TP14 687.02

TP15 687.02

TP16 687.02

TP17 687.02

TP18 687.02

TP19 687.02

TP20 687.02

TP21 687.02

TP22 687.02

TP23 687.02

TP24 687.02

TP25 687.02

TP26 687.02

TP27 687.02

TP28 687.02

TP29 687.02

TP30 687.02

TP31 687.02

TP32 687.02

TP33 687.02

TP34 687.02

TP35 687.02

TP36 687.02

TP37 687.02

TP38 687.02

TP39 687.02

TP40 687.02

TP41 687.02

TP42 687.02

TP43 687.02

TP44 687.02

TP45 687.02

TP46 687.02

TP47 687.02

TP48 687.02

TP49 687.02

TP50 687.02

TP51 687.02

TP52 687.02

TP53 687.02

TP54 687.02

TP55 687.02

TP56 687.02

TP57 687.02

TP58 687.02

TP59 687.02

TP60 687.02

TP61 687.02

TP62 687.02

TP63 687.02

TP64 687.02

TP65 687.02

TP66 687.02

TP67 687.02

TP68 687.02

TP69 687.02

TP70 687.02

TP71 687.02

TP72 687.02

TP73 687.02

TP74 687.02

TP75 687.02

TP76 687.02

TP77 687.02

TP78 687.02

TP79 687.02

TP80 687.02

TP81 687.02

TP82 687.02

TP83 687.02

TP84 687.02

TP85 687.02

TP86 687.02

TP87 687.02

TP88 687.02

TP89 687.02

TP90 687.02

TP91 687.02

TP92 687.02

TP93 687.02

TP94 687.02

TP95 687.02

TP96 687.02

TP97 687.02

TP98 687.02

TP99 687.02

TP100 687.02

TP101 687.02

TP102 687.02

TP103 687.02

TP104 687.02

TP105 687.02

TP106 687.02

TP107 687.02

TP108 687.02

TP109 687.02

TP110 687.02

TP111 687.02

TP112 687.02

TP113 687.02

TP114 687.02

TP115 687.02

TP116 687.02

TP117 687.02

TP118 687.02

TP119 687.02

TP120 687.02

TP121 687.02

TP122 687.02

TP123 687.02

TP124 687.02

TP125 687.02

TP126 687.02

TP127 687.02

TP128 687.02

TP129 687.02

TP130 687.02

TP131 687.02

TP132 687.02

TP133 687.02

TP134 687.02

TP135 687.02

TP136 687.02

TP137 687.02

TP138 687.02

TP139 687.02

TP140 687.02

TP141 687.02

TP142 687.02

TP143 687.02

TP144 687.02

TP145 687.02

TP146 687.02

TP147 687.02

TP148 687.02

TP149 687.02

TP150 687.02

TP151 687.02

TP152 687.02

TP153 687.02

TP154 687.02

TP155 687.02

TP156 687.02

TP157 687.02

TP158 687.02

TP159 687.02

TP160 687.02

TP161 687.02

TP162 687.02

TP163 687.02

TP164 687.02

TP165 687.02

TP166 687.02

TP167 687.02

TP168 687.02

TP169 687.02

TP170 687.02

TP171 687.02

TP172 687.02

TP173 687.02

TP174 687.02

TP175 687.02

TP176 687.02

TP177 687.02

TP178 687.02

TP179 687.02

TP180 687.02

TP181 687.02

TP182 687.02

TP183 687.02

TP184 687.02

TP185 687.02

TP186 687.02

TP187 687.02

TP188 687.02

TP189 687.02

TP190 687.02

TP191 687.02

TP192 687.02

TP193 687.02

TP194 687.02

TP195 687.02

TP196 687.02

TP197 687.02

TP198 687.02

TP199 687.02

TP200 687.02

TP201 687.02

TP202 687.02

TP203 687.02

TP204 687.02

TP205 687.02

TP206 687.02

TP207 687.02

TP208 687.02

TP209 687.02

TP210 687.02

TP211 687.02

TP212 687.02

TP213 687.02

TP214 687.02

TP215 687.02

TP216 687.02

TP217 687.02

TP218 687.02

TP219 687.02

TP220 687.02

TP221 687.02

TP222 687.02

TP223 687.02

TP224 687.02

TP225 687.02

TP226 687.02

TP227 687.02

TP228 687.02

TP229 687.02

TP230 687.02

TP231 687.02

TP232 687.02

TP233 687.0

工事前写真

A photograph showing a natural, dark, arched opening in a rocky hillside, heavily overgrown with green ferns and other vegetation. A dirt path leads into the opening. This is the site before any construction work.

完成写真

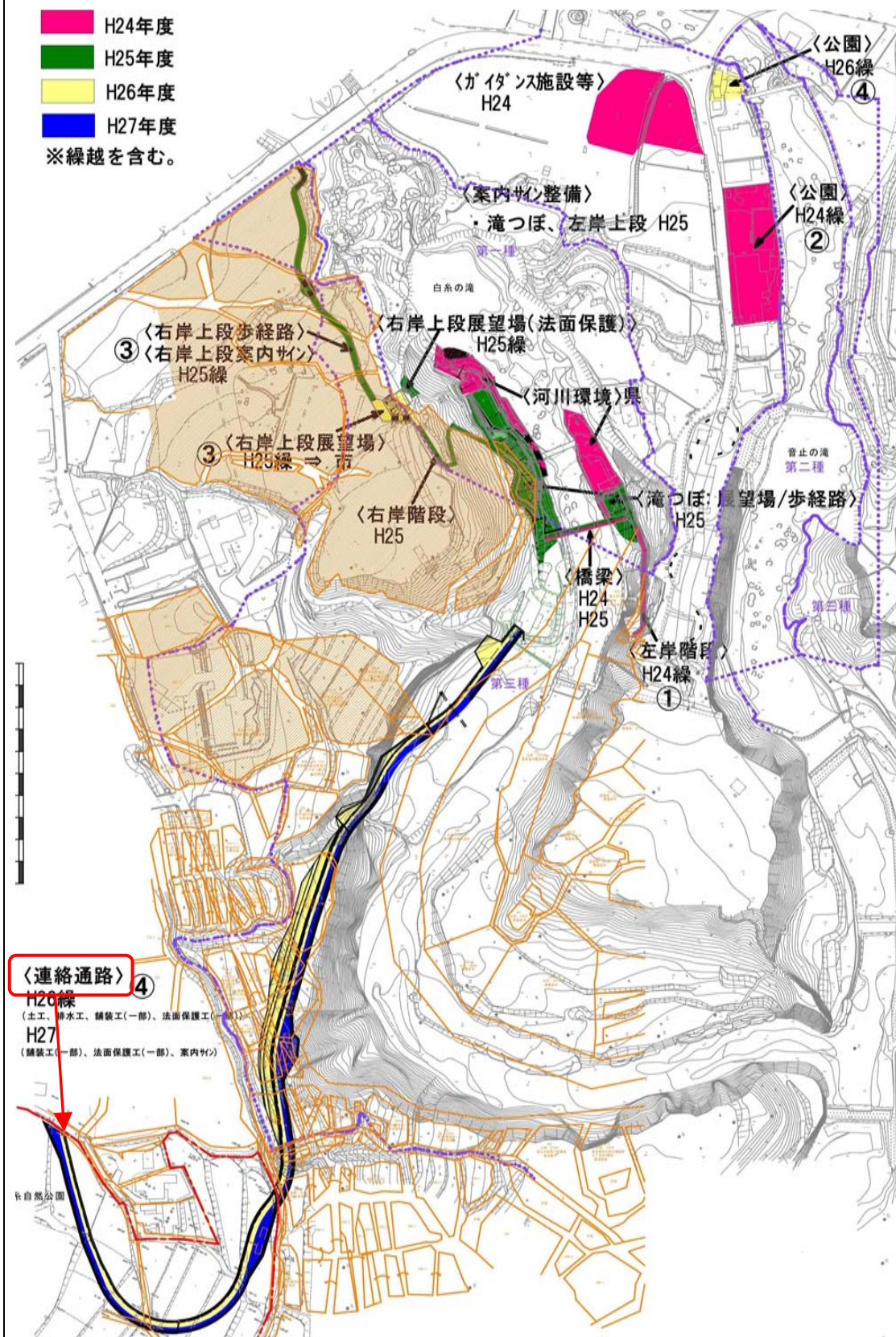
A photograph showing the same site after construction. The opening is now a well-defined stone structure, possibly a well or a small tunnel entrance, built with dark, stacked stones. A small stone lantern stands in front of the structure. A wooden fence is visible in the background.

完成写真

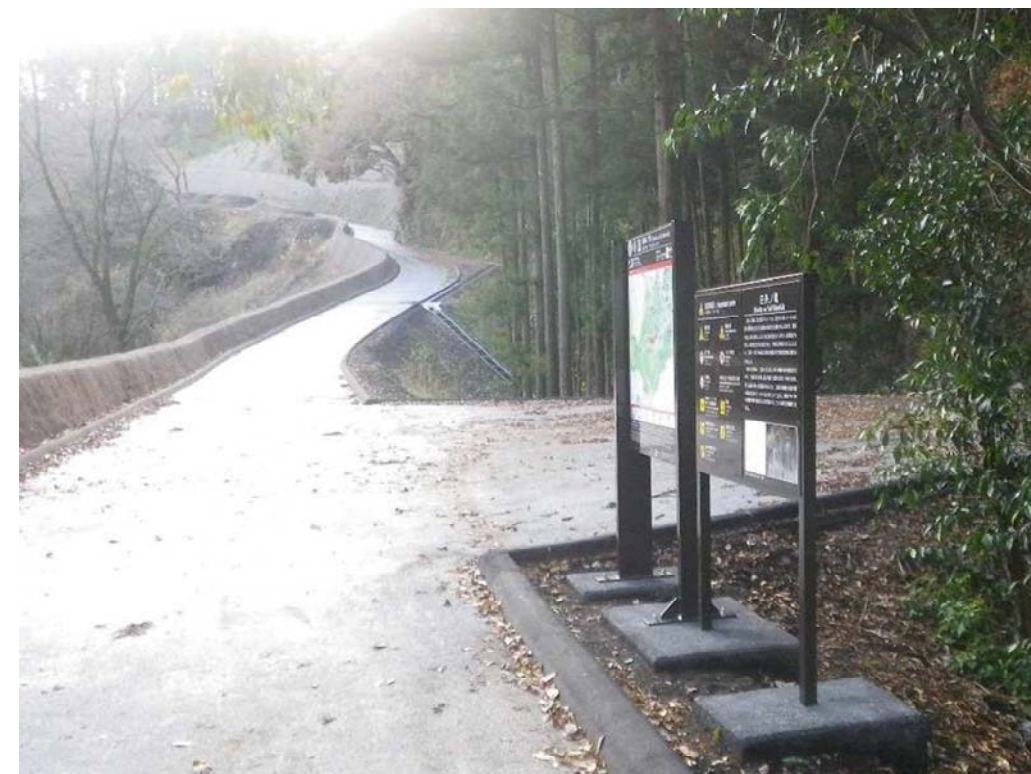
A photograph of a completed stone structure, likely a tomb or monument. The structure is built from dark, irregular stones, forming a low wall or enclosure. On top of the structure, there is a small, ornate stone lantern. The surrounding area is covered in dry grass and some small plants. In the background, there is a wooden fence and some trees.

(4) 白糸ノ滝

図面



完成写真



清水海岸の侵食対策工法紹介

清水海岸では海岸侵食や背後地への越波被害を防ぐために、「L型突堤」「離岸堤型ヘッドランド」「離岸堤」「消波堤」といった最小限の施設と、人工的に砂を補給し、砂浜の維持・回復を図る「養浜」の組み合わせにより必要な砂浜の保全を図っています。

1号L型突堤の整備

水理模型実験や詳細設計については、技術会議の後継組織である「三保松原景観改善技術フォローアップ会議」（以下、「フォローアップ会議」）委員の技術的助言を得ながら進めており、平成28年10月末には詳細設計が完了し、平成28年11月から工事（L型突堤の横堤の工場製作）に着手している。



【消波堤】

汀線付近で汀線と平行に消波ブロック等を設置したもので、波の力を弱めて砂の流出を食い止め、汀線後退を防ぐ工法。



【離岸堤型ヘッドランド】【L型突堤(突堤型ヘッドランド)】

ヘッドランド工法は岬状の施設を一定の間隔で設置し、その間に安定した砂浜を形成する工法。清水海岸では2基1組の離岸堤の背後に砂を堆積させて「岬」を形成する離岸堤型ヘッドランドと、漂砂の移動を阻止することで「岬」を形成する突堤型ヘッドランドを採用している。



【離岸堤】

汀線より沖合に、汀線とほぼ平行に消波ブロック等を設置したもので、波の力を弱め背後に砂を堆積させる工法。



【養浜】

人工的に砂を補給して砂浜の維持、回復を図る工法。清水海岸では、土砂供給源である安倍川の河床堆積土砂を利用したサンドバイパスと三保飛行場付近の余剰堆積土砂を利用したサンドリサイクルを行っている。



(仮称) 三保松原ビジターセンター建設工事設計の結果概要

(1) 施設規模

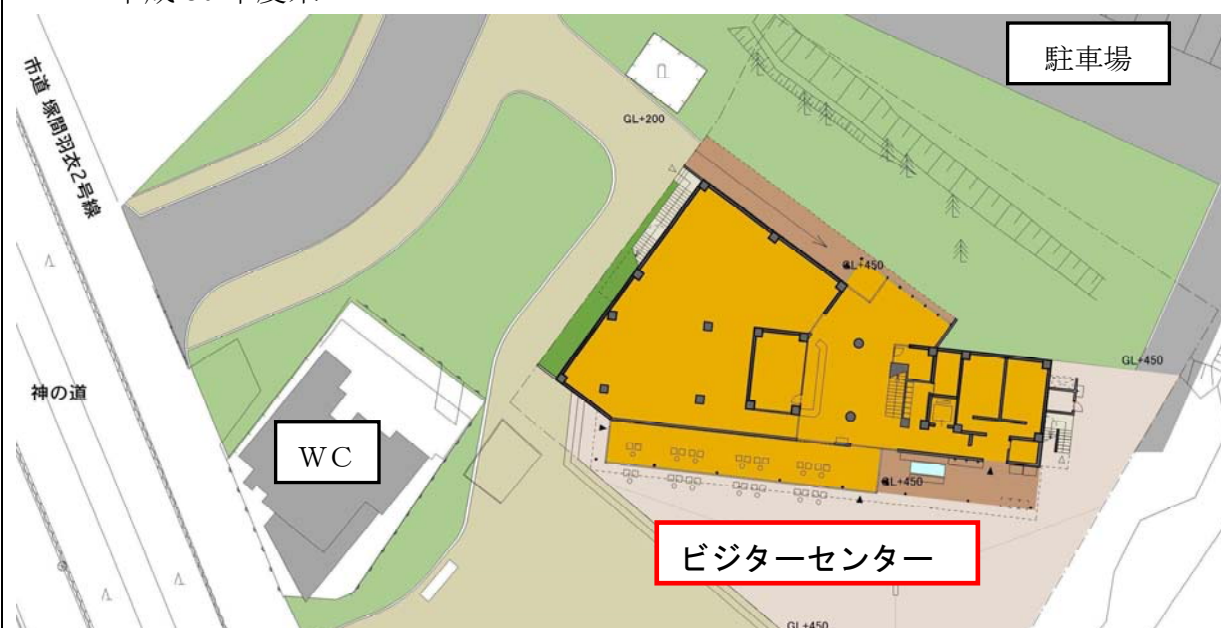
- ・鉄筋コンクリート造 2 階建
- ・床面積 1,000 m²程度（敷地面積 2,018 m²）

(2) 事業費

- ・約 7 億円（建設・展示事業費等含む）

(3) 開館予定

- ・平成 30 年度末



展示内容

三保松原の美しい姿に触発された日本人のまなざしを追体験し 三保松原の価値への気づきを促す「共感展示」

羽衣伝説や芸術作品に表現されるとともに、銭湯絵など人々の生活に浸透し、日本人の心象風景として愛されてきた三保松原の美しい風景。四季折々の美しさや、様々な作品にみられる美しさに体感的に触れることで、来館者の想像力や感性を刺激し、世界文化遺産として認められた「富士山と三保松原の精神的なつながり」や、「日本人の美意識や感性」など、三保松原がもつ「目に見えない価値」への共感を促します。



■ 4 つの展示方針

1. 三保松原の多様な美しさを ガイダンスする

四季折々の三保松原の美しい姿をみせる
とともに、芸術・信仰への展開などその
普遍的価値をガイダンスします。

三保松原がみせる様々な美しい姿を
ストレートに体感

2. 日本文化の中で育まれた 三保松原への愛情を伝える

三保松原を題材とした、羽衣伝説や芸術作品、
その他身近な生活用品などを通して、日本人
の三保松原への愛情の深さを伝えます。

歴史を超えて人々に愛されてきた
三保松原の魅力を実感

3. 三保松原の自然を守り継ぐ 取り組みを伝える

三保松原のなりたちと現状を、保全活動への
取り組みと結びつけて、松原サポートセン
ターに近接させた体験展示スペースで紹介し
ます。

松原保全への意識を共有し、
三保松原の価値を未来へと継承

4. 三保松原に賑わいを生む 仕組みをつくる

地域を代表する観光地、世界文化遺産富士山
の構成資産の一つとして、観光ネットワー
クを形成するとともに、更新性のあるシステム
により、常に新鮮な展示を提供します。

人々の賑わいを生み出し、
三保松原の魅力を広く発信

■ 展示ストーリー

